

キラリ★八代人



熊本高専八代キャンパス ロボコン部

前列左から

南條 充宏さん(3年)

湯野 友貴さん(5年)

加世田 佳朋さん(2年)

後列左から

森崎 弘樹さん(5年)

森本 堅太さん(5年)

宅島 幸正さん(2年)

満永 仁さん(1年)

堀上 大貴さん(1年)



▲全国大会での試合

11月25日にアイデア対決・全国高等専門学校ロボットコンテスト2018が開催され、熊本高等専門学校八代キャンパスのロボコン部のチームがロボコン大賞に輝いた。

メンバーは機械知能システム工学科1～5年の8人で、5月から大会に向けて取り組んできた。今回の競技テーマは Bottle-Flip Game (ボトルフリップ・カフェ)。手動ロボットと自動ロボットを使って高さの異なる8カ所のテーブルに向かってペットボトルを投げ、立たせた本数を競った。

製作したロボット「Bastula」には、手動ロボットと自動ロボットの合体での動作と個別での動作ができる2種類のシステムを組み込んだ。また、ペットボトルの中身には弾みを軽減するために輪ゴムを採用し、テーブルの高さごとにペットボトルの形や重さなどを調整して臨んだ。

九州・沖縄地区大会では43点を獲

4年ぶり2回目となるロボコン大賞受賞

得し、代表4校に選出。さらに得点を伸ばせるように調整を何度も行い、迎えた全国大会では、1回戦で本年度の大会で最高の60点という圧倒的な得点力を見せた。準決勝からは全てのテーブルにペットボトルを立てせるルールとなり、同校はロボットを個別に動かす作戦で進めた。が、時間内に調整が十分にできず、準決勝で惜しくも敗れた。

しかし、圧倒的な得点力を高く評価され、アイデア・技術などを総合的に判断して最も優れたチームに贈られるロボコン大賞を受賞した。また、大会中に最もツイートを多く集めたバズコン大賞と出場各校のメンバー投票によるロボコンリスト賞も受賞した。

チームリーダーの湯野友貴さんは「努力が評価されてうれしい。後輩たちには優勝とロボコン大賞の2つを目指して頑張ってもらいたい」とエールを送り、夢を託した。

広報やつしろ2019年2月号

八代市 掲載許可済